

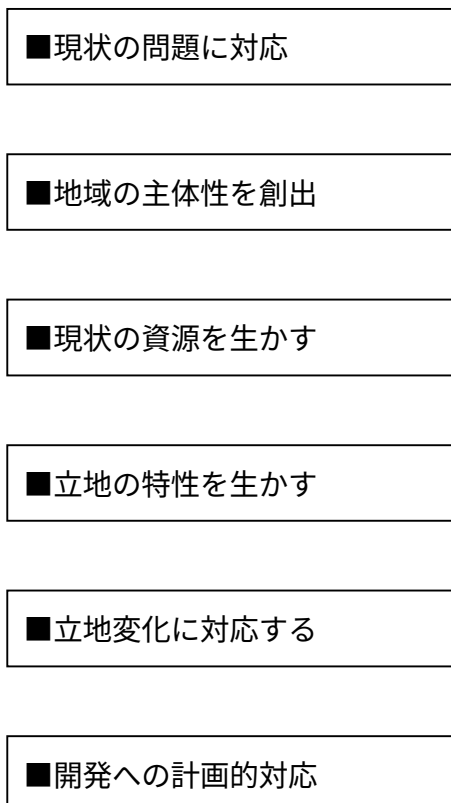
(2) 南吹田地域のまちづくりの基本的視点

計画対象区域の特性から整理したまちづくりの課題への対応や、まちの方向性を検討するためのまちづくりの基本的な視点を整理しました。

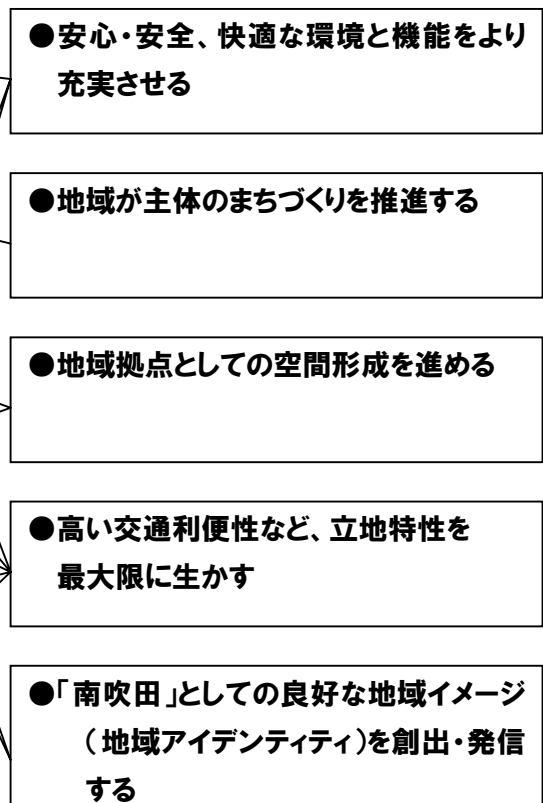
1) まちづくりの視点整理

平成 18 年度（2006 年度）に実施した意向調査では、交通機関や日常の買物・医療・福祉・市民サービスなどの利便性と交通・防犯・防災などの安全性に対する不満が高く、問題点として、交差点の事故、歩道等の不足、工場等の振動・臭い、不法駐車、治安への不安、ガード下の安全などが具体的に挙げられています。また、まちづくりの方向性としても安心・安全なまちが望まれており、歩きやすい安全な歩行者空間の整備、医療・福祉など、市民生活を支える施設の立地、防犯体制の整備・充実が必要だと選択されています。一方、過半の人がこのまちに住み続けたい思いを持ち、まちづくり活動への関心も高いといえます。このような意向調査の結果からみると、新駅開設など交通利便性の向上を踏まえ、吹田市南部の立地を生かした、安心・安全、かつ、個性とにぎわいのある誇れるまちづくりを進めることが求められており、次の 5 つの視点を基本的なまちづくりの視点として整理しました。

《 計画対象地区全体の課題 》



《 まちづくりの基本的視点 》



2) まちづくりの基本的視点

計画対象区域及びその周辺地域における今後のまちづくりを考える上での基本的視点の具体的内容は下記のとおりです。

●安心・安全、快適な環境と機能をより充実させる

南吹田はこれまでも暮らしの場として多くの市民が生活しており、今後も暮らし続けることが基本です。また、これまで以上に多くの市民の居住が進む可能性があります。そのため、暮らしの場として必要な機能と環境をまちの基礎的条件として備えるとともに、より安心で快適な生活環境を充実させるという視点。

●地域が主体のまちづくりを推進する

地域住民や地域に立地する企業等が互いに協力し、自らが主体となって地域に根ざした「協働のまちづくり」を推進するという視点。

●地域拠点としての空間形成を進める

南吹田は吹田市南部の地域拠点として発展することが求められており、そのためにふさわしい空間形成を進めるという視点。

●高い交通利便性など、立地特性を最大限に生かす

おおさか東線や都市計画道路十三高槻線の開通、江坂や新大阪との近接性、神崎川沿いへの産業集積、リバーフロントなどの立地環境のポテンシャルを最大限に生かし、南吹田のまちの発展を促すという視点。

●「南吹田」としての良好な地域イメージ(地域アイデンティティ)を創出・発信する

現状では「南吹田」としての明確な地域イメージはないが、ハード・ソフト両面からのまちづくりを進めることにより、良好な地域イメージを創出し、地区内外に発信することにより、南吹田のイメージアップを図るという視点。

(3) 南吹田地域まちづくり会議による南吹田地域まちづくり構想

1) 南吹田地域まちづくり構想の位置づけ

南吹田地域(新駅を中心に概ね半径 500m の区域)では、おおさか東線の新駅設置や周辺の幹線道路の整備などが進み、地域の利便性が飛躍的に高まることとなる中、当地域が吹田市の南の玄関口として魅力あるまちとして発展していくよう、地域のまちづくりについて話し合う場として、南吹田地域まちづくり会議(以下、まちづくり会議)を、平成 19 年(2007 年)7 月 21 日に設置しました。

まちづくり会議では、南吹田地域のまちづくりについて話し合いを重ね、まちの将来像として「南吹田地域まちづくり構想(以下、まちづくり構想)」をとりまとめました。

この、まちづくり構想は、まちづくり会議において、地域に関わる人々から出された、日常の暮らしや働く中で感じたり、考えたりしている、生活感覚から出された様々な意見を整理・検討し、まちの将来像として取りまとめたものです。

まちづくり構想は、「まちの方向性」と、その実現に向けた「まちづくり方策」によって構成されており、平成 20 年(2008 年)3 月 7 日に、まちづくり会議の有志によって吹田市へ提案されました。



2) 南吹田地域まちづくり構想の概要

まちづくり会議では、南吹田地域のまちづくりを進めるに当たってのまちの将来像として、以下のように、6つの「まちの方向性」と27の「まちづくり方策」をまちづくり構想に位置づけました。

～まちの方向性とまちづくり方策～

人の行き来がしやすいまち	①おおさか東線及び新駅の整備 ②新たな地域分断とならない鉄道計画 ③便利で利用しやすい駅前広場の整備 ④みんなが安心して歩ける道づくり ⑤地域と周辺のまちをつなげる道路の整備 ⑥駅周辺での自転車駐車場の整備 ⑦周辺のまちとつながる路線バスの導入
住んでいる人、働いている人が安心して、便利に楽しく過ごせるまち	①子どもからお年寄りまで誰もが使いやすい公園整備 ②便利に暮らせる商業施設、公共公益施設等の立地 ③住みやすい環境を守るためのルールづくり ④活気のあるまちにするための学びの場づくり ⑤暮らしの安心感を高める施設の立地
花や緑がいっぱいで美しいまち	①花や緑のあふれる駅前広場づくり ②散歩したくなる並木道づくり ③幹線道路沿いの美しい景観づくり ④住宅地での花や緑のあふれるまちなみづくり ⑤花や緑のあふれる公園づくり
地域の風土に親しむまち	①地域の個性を表現し、愛着を持って利用する新駅の整備 ②神崎川を活用したまちづくりイベント ③神崎川沿いのうるおいある空間形成 ④農業の歴史を留め伝える取り組み
ふれあい・憩う・笑顔のまち	①地域コミュニティを育てる場・きっかけづくり ②防犯・防災、生活マナー向上への地域活動 ③よりよいまちにするための「まちづくり活動」
働く場もある活力のあるまち	①地域と企業が共存したまちづくり ②企業活動を地域にPRする取り組み ③住環境に配慮した操業の継続

(4) 小学生によるまちづくり学習

吹田南小学校と吹田第六小学校の4年生を対象に、将来を担う子どもたちに、まちのことに目を向けてもらい、将来のまちの姿を描いてもらうことを目標に、「まちづくり学習」に授業の一環として取り組み、南吹田のまちづくりをテーマとしたワークショップ等を実施しました。吹田南小学校では紙芝居として、吹田第六小学校では模型として仕上げ、まとめました。

1) 吹田南小学校

① まちづくり学習の概要

「大人」「子ども」「高齢者」「障害者」など多様な立場に立って、用意したイメージ写真から南吹田のまちがこんなまちになったらいいと思う写真を4枚選び、「南吹田のまちづくり物語」を考え、4コマの紙芝居に仕上げました。

その1：南吹田のまちを歩く



その2：まちづくりマップをつくる



その3：南吹田がどんなまちになったらいいか考える



その4：南吹田のまちづくり物語をつくる



その5：南吹田のまちづくり物語を発表

②物語づくりで出されたまちづくりの考え方

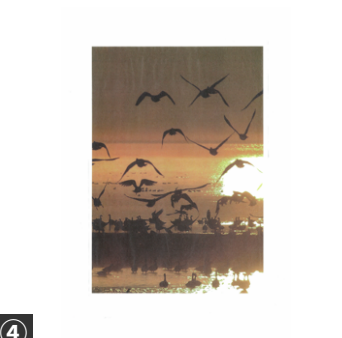
児童は30のグループに分かれ物語づくりを行い、作成した物語のタイトルは、下表のような内容となり、「安全なまち」「きれいなまち」「にぎやかなまち」など、様々な視点が出されました。

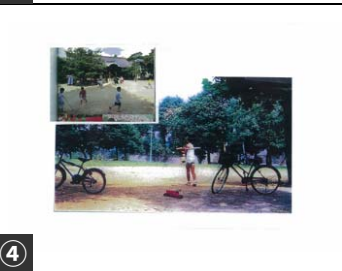
■物語づくりで考えられたタイトル

	タイトル	物語づくりにおいて設定した「立場・テーマ」
1	きれいな散歩道のある吹田	障害者
2	体の不自由な人でも通りやすい町南吹田	体の不自由な人
3	障害のある人でも自然がいっぱい南吹田	障害者
4	自然がたくさんな町南吹田	自然
5	にぎやかな町南吹田	環境
6	障害者の人でも豊かに暮らせる町南吹田	障害者
7	安心してきて自然がたくさんある南吹田	大人
8	にぎやかな町南吹田	環境
9	安全で楽しい町作り	安全
10	すてきな町南吹田	お年寄り
11	お年寄りも楽しく暮らせる南吹田	お年寄り
12	お年寄りの人も楽しく暮らせる南吹田	お年寄り
13	お年寄りが昔のことを思い出せる町南吹田	お年寄り
14	子どもが楽しく遊べる町南吹田	子ども
15	お年寄りでも楽しく過ごせる町南吹田	お年寄り
16	キレイな町南吹田	大人
17	楽しくきれいな町南吹田	大人
18	小さい子どもも安全に楽しく遊べるまち	子ども
19	家族みんなで楽しくお買い物ができる町南吹田	家族
20	みんなの町、西吹田～〇〇家の1日～	子ども
21	子どもも気軽に遊べる町南吹田	子ども
22	大人も楽しめる町南吹田	大人
23	きれいな町南吹田	障害者
24	体の不自由な人でも行ける散歩道	体の不自由な人
25	便利な町南吹田	大人
26	楽しい町南吹田	お年寄り
27	安全な町南吹田	安全
28	旅に行くぞ新たな駅へ	ペット
29	赤ちゃんも楽しめる町南吹田	赤ちゃん
30	ペットが気持ちよく散歩できる町南吹田	ペット



■小学生がまとめた紙芝居(一部)

例1 ■お年寄りも楽しく暮らせる南吹田 ・南吹田に観光に行きましょう ・桜の並木の道を通して ・坂もなくっていいですね ・きれいな花があります ・大きな木の下でご飯を食べましょう ・ベンチがあっていいですね ・八百屋さんのキュウリ安くて人気のお店 ・目的は 夕日 間に合った きれい ・近くに新しい駅が出来て ・電車に乗って帰りましょう	①  ②  ③  ④  ⑤ 
--	--

例2 ■みんなの町・西吹田 —〇〇家の1日— 日曜日 子ども達はお母さんと一緒に電車に乗っておでかけ ・まずは公園に行こう ・とちゅう 散歩道にさしかかり 広い道だね ・公園でお母さんは少し休憩 ・野球するぞ ・そろそろ買物にいこう ・デパートで買物しよう ・広い いろんなお店があるね ・レストランでご飯をたべようか ・西吹田駅にはいろんなところがありますね	①  ②  ③  ④  ⑤ 
---	---

例3 ■ペットが気持ちよく散歩できる町南吹田 サルと大トカゲとイヌと ・散歩道きれい ・春は桜を観に行こう きれい ・マンションがあって、花や木が植わってる ・でも またマンション、ペットにとって自然破壊は敵 ・自然のいっぱいの川、山がある ・ここで 寝たい 草を食べる ・川の温泉に入ろう ・最終目的地の西吹田駅 きれいなところ ・吹田市の人はまちが使いやすいね	ペットが気持ちよく散歩できる町 南吹田 ①  ③  ⑤	 ②  ④
--	---	---

例 4 ■体の不自由な人でも通りやすい町南吹田 ・みんなで車いすに乗って駅に行きます ・木がいっぱいの道 ・まんなかが広い公園のある住宅街を通して ・この道「いっぱい木があるな」みんなで感動 ・住宅街は大きな家の一軒家が多いな ・店がちらほらあります ・緑がいっぱいあるから、ほんまにきれい ・この町はいろいろあるからきれい ・住宅街を抜けて駅がみえてきました ・駅の前にコンビニがあって、ジュースを買いました ・切符を買って電車を待っていました人がいっぱい ・電車に乗って目的地にきました今日は本当に楽しかった	体の不自由な人でも 通りやすい町 南吹田 ①  ③  ⑤	 ②  ④
---	--	---

2) 吹田第六小学校

①まちづくり学習の概要

グループに分かれてまちを歩き、どんなまちになったらいいかを考え、まちに必要な「もの」「場所」を整理した上で、模型づくりに向けた「まちの設計図」を作成し、「南吹田のまちの模型」に仕上げました。

その1：南吹田のまちを歩く



その2：まちづくりマップをつくり、
南吹田がどんなまちに
なったらいいか考える



その3：まちの設計図づくり



その4：まちの模型づくり



その5：南吹田のまちの模型
を発表

②子どもの視点から考えたまちの将来像

南吹田地域が将来どのようなまちになったらよいと思うか、言葉にしてまとめてもらいました。その内容から、子どもたちがまちの将来像に対してどのような視点を持っているのか整理しました。

視点	内容
便利で豊かなまち	○花や緑が多く豊かできれいなまち。 ○明るく、人が通りやすい道。 ○南吹田がもっと目立ってきれいで明るくて便利なまちだったらいいと思う。 ○南吹田がもっと便利でお年寄りが住みやすいまちになるといい。 ○南吹田の面白いところやいいところ（ぐるぐるの道など）を残してほしい。 ○おじいさんやおばあさんが笑顔でくらせるまちになったらいい。 ○便利でおもしろく住みやすく楽しいまち。 ○自然が多くきれいで便利な住みやすい安全なまち。 ○南吹田がもっとにぎやかまちになったらいいと思う。
楽しいまち	○楽しくて便利なまち。 ○田んぼや花畑などは残していきたいな。 ○わくわく、ときどきするほど楽しいまちになってほしい！！ ○みんなが楽しく便利なまちになって環境のよいところでもあってほしい。 ○公園は小さな子からお年寄りまで、使えるところがあるまち。 ○明るくて、みんなが笑顔でいられるところ。 ○おもいっきりさけべるところ。 ○歩道があったらいいのに。 ○コンビニエンスストアがあったらいい。 ○カラフルなお店があるところ。 ○レストランが多くなるまち。 ○もっとお菓子やさんが多いまち。 ○もっとにぎやかなパークみたいなのがほしい。
気持ちの良いまち	○木や花がたくさんある、暮らしやすいまち。 ○もっとスーパーや市場、自動販売機がいっぱいあるまち。 ○自然があって遊べるまち。
安全なまち	○もっと南吹田のまちがきれいになってほしい。 ○安全で危なくないまち。 ○交通安全のまち。 ○環境にやさしいまち。
きれいなまち	○ポイ捨てやタバコの吸いがらを道路に捨てるのをやめてきれいなまちにしたい。 ○きれいでゴミが少ないまち。 ○スピード違反、駐車違反がなくなればいいのになあ。 ○子どもたちが楽しく遊べて、緑や森林がたくさんあって、いいところ（きれいなところ）がたくさんあるまち。 ○いいところがたくさんあったから、もっと増やしてほしい。 ○落書きがなくなればいい。 ○犬や猫を捨てない。 ○ゴミは分別しよう。まだ使えるゴミはまだ使う。 ○リサイクルおもちゃを作ろう。 ○みんなで、地球を大切にしよう！！ ○きれいにたのしくおもしろく。 ○きれいで健康なまち。 ○川や海がキレイになったらいいな。

■小学生が作成したまちの模型(一部)



